

作者のノート

子 26 字 23 行

(一)

その時の経緯

6行

川崎

12

昭和十二年の十二月は、中華編纂の
基本資料として、
中国の経済状況を知る必要ありと
し、私は即座に派遣し、具体的
な相談をなすこととす。

その時、日本軍の上陸が、揚子江沿いに西
下して、南京を迫りつつあり、陸軍の手続
上、他の時間的余裕もなく、東京の
のび十二月二十五日頃、南京入城の直後であ
る。指定された船隻が神戸から本航すること
となり、ななを港に送り、ついでと、十二月
四日、船が待つところ、この人の出身の
少尉中尉の五人同航して、この人を
前線に送り、将校を補完して派遣
された(途中であつた)五人の補充将校と